

建設産業の今を伝え未来を考える

建設業



No. 539

Jun.2022



特集

建設分野の  
特定技能外国人の受入れについて



人々の暮らしを創っています

**1 オンライン講習【平日毎日開催中】**

自宅や職場で受講ができます。年間約220回

**2 会場講習【全国47都道府県で開催】**

講習会場：全国250都市 開催数約：1,000回  
お近くの会場で受講ができます。

**3 受講日変更可能**

講習受付センター

TEL.0570-081-812

FAX.0570-081-882

URL.<http://www.fcip-ko.jp>



※QRコードからのアクセスは一部できない場合があります。

# 監理技術者講習

国土交通大臣登録講習実施機関

一般財団法人 **建設業振興基金**

東京都港区虎ノ門4丁目2番12号 虎ノ門4丁目MTビル2号館(登録番号2)

実施協力

株式会社 **建設産業振興センター**



編集発行

一般財団法人 建設業振興基金 〒105-0001  
東京都港区虎ノ門4-2-12虎ノ門4丁目MTビル2号館  
TEL : 03-5473-4584 FAX : 03-5473-1594  
URL : https://www.kensetsu-kikin.or.jp/

## CONTENTS

特集

# 建設分野の 特定技能外国人の受入れについて

02

- 1. 受入対象職種は以下の18職種です
- 2. 特定技能外国人になるルート
- 3. 受入負担金の負担
- 4. キャリアアップシステムへの登録
- 5. 技能実習制度との違いは??
- 彼らと共に成長し日本の技術を世界に広めたい!
- JACの取組み

## FOCUS

工業高校紹介

奈良県立御所実業高等学校

08

- インタビュー：喜多 将仁 先生

## PRESCRIPTION

日本経済の動向

10

- 米国の金融引き締めとインフレの行方

建設経済の動向

11

- 生産性2割アップの実現に死角はないか

連載 働き方改革の定着に向けて

12

～2024年の時間外労働上限規制への対応～

- 【第3回】  
労務管理

連載 かわいい土木【第44回】

14

- ねじりまんぼ(蹴上トンネル)  
／京都市左京区

働くすべての女性が  
働きつづけられる建設産業へ  
建設産業女性定着支援ネットワーク

16

いつでもチェック!!

建設業  
しんこうWeb

建設産業の今を伝え  
未来を考える

「建設業しんこう」は  
Webでも  
ご覧いただけます。



しんこうWeb

検索

https://www.shinko-web.jp/



メルマガ登録は  
こちらから!



「建設業しんこう」に関するご意見・ご要望  
TEL : 03-5473-4584 (企画広報部)  
MAIL : kikaku@kensetsu-kikin.or.jp

印刷：日経印刷株式会社  
©本誌記事の無断転載を固く禁じます。

## 特集

# 建設分野の

# 特定技能外国人の受入れについて

(一社)建設技能人材機構(JAC)

建設業は、他産業と比べて技能実習生の失踪が多く、失踪した実習生が不法就労の状態でもた別の建設現場で働いている現状があります。また、ライバル会社が安価な労働力として外国人を雇うことになれば、建設業者間の公正な競争環境をゆがめるのではないかと懸念もあり、業界として賃金や社会保険、安全衛生のルールをしっかりと整備して、ルールを守らない企業を排除していく必要があります。

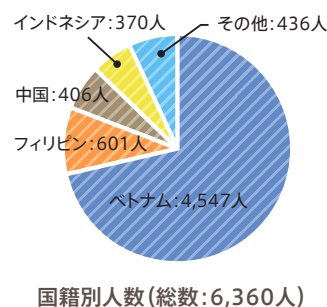
### 失踪した実習生が不法就労で安価な労働力として働いているのを適正化する

こうした問題に対して建設分野では、特定技能外国人を受け入れる企業は、出入国在留管理庁からの在留資格取得の前に、受入計画を作成して国土交通省の認定を受け、認定後も認定計画の実施状況について国土交通省または適正就労監視機関から確認を受けることが義務付けられました。

そして、この制度の創設により、技能実習2号等修了後、引き続きの在留が認められなかったこれまでとは異なり、引き続き通算5年間、企業の戦力として働いてもらうことができるようになりました。また、帰国している技能実習修了者も、再度呼び寄せ、直接雇用することができるようになりました。

2022年3月末時点、建設分野における特定技能1号在留外国人数は前年同月比で、約3倍の6,360名であり、多くの企業がこの制度を活用し始めました。

本稿を機会に、建設企業の皆様が、この特定技能外国人制度を正しく理解し、有効に活用することで、それぞれの建設企業の皆様の人材確保の一助となれば幸いです。



## 1 : 受入対象職種は以下の18職種です

型枠施工・左官・コンクリート圧送・トンネル推進工※・建設機械施工・土工※・屋根ふき・電気通信※・鉄筋施工・鉄筋継手※・内装仕上げ・とび・建築大工・配管・建築板金・保温保冷・吹付ウレタン断熱※・海洋土木工※

※印の6職種については、技能実習等に職種がないため、「建設分野特定技能1号評価試験」を受験し、合格することが必要。

## 2 : 特定技能外国人になるルート

外国人が特定技能外国人になるルートは次の2つがあります。

### ルート1 技能実習等未経験者

①技能評価試験  
「建設分野特定技能1号評価試験」  
又は「技能検定3級」

②日本語試験  
「国際交流基金日本語基礎テスト」  
又は「日本語能力試験(N4以上)」

### ルート2 技能実習等経験者

・技能実習2号を良好に修了した者  
・外国人建設就労者

### 特定技能1号

●在留期間は通算5年

●家族の帯同不可

班長として一定の実務経験 + 「建設分野特定技能2号評価試験」または「技能検定1級」に合格

### 特定技能2号

●在留期間の更新に上限なし

●家族(配偶者・子)の帯同可

### 3 : 受入負担金の負担

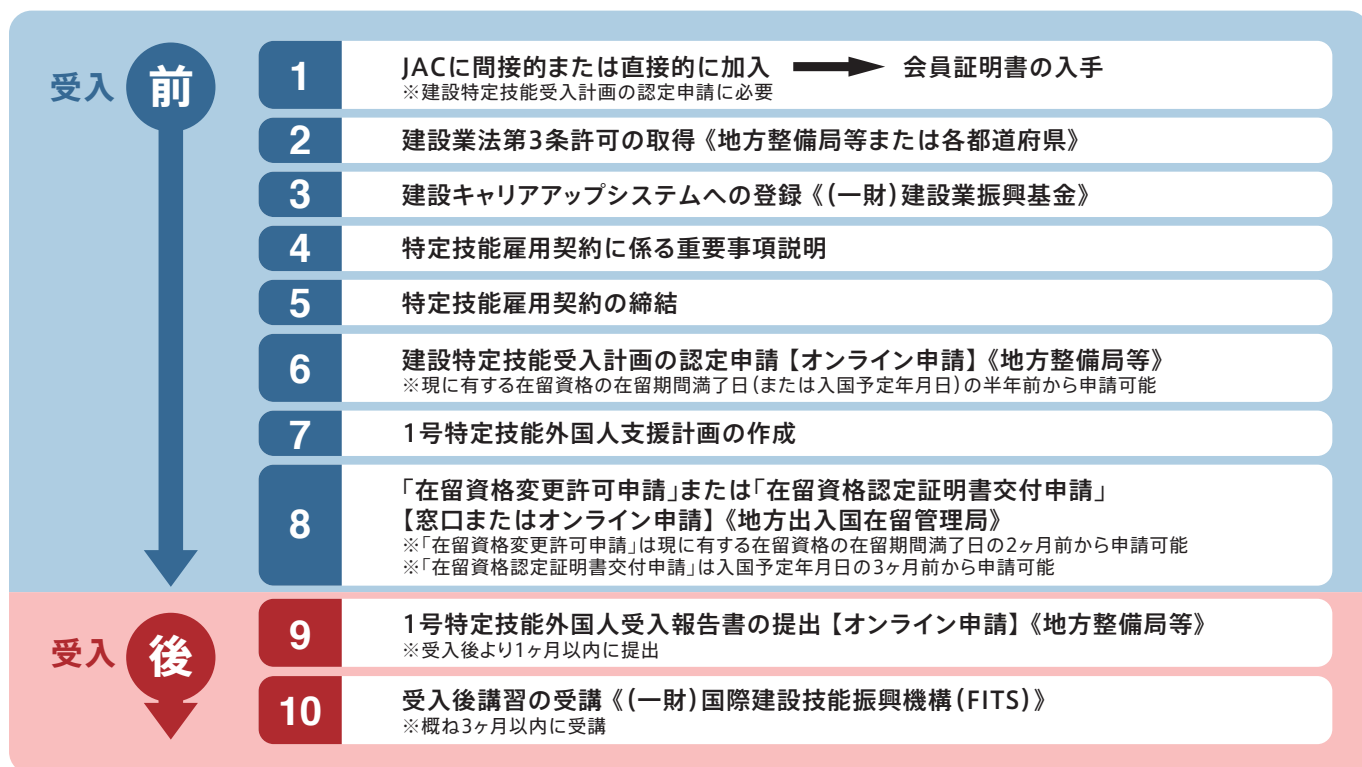
#### 受入負担金の額

1号特定技能外国人を受け入れる建設企業(以下「受入企業」という。)の皆様には、1号特定技能外国人1名につき毎月、下記に記載する受入負担金を負担いただく仕組みとなっています。なお、この受入負担金は、直接的又は間接的を問わず、1号特定技能外国人に負担させてはいけません。

海外試験合格者(JACが行う海外の教育訓練を受けた場合)は20,000円、海外試験合格者(前記以外の場合)は15,000円、国内試験合格者は13,500円、試験免除者(技能実習2号修了者等)は12,500円を受入企業に負担いただきます。

この受入負担金は、教育訓練及び技能評価試験の実施、試験合格者や試験免除者の就職・転職の支援、受入企業及び1号特定技能外国人に対する巡回指導並びに母国語相談ホットライン業務など、JACが特定技能外国人受入事業実施法人として実施する共同事業に充てられます。

#### 受入企業がすべきこと(主なもの)



### 4 : キャリアアップシステムへの登録

特定技能外国人制度において、受入企業は「建設キャリアアップシステム」への加入が義務づけられています。これは、技能者本人の情報や日々の就業履歴を蓄積し、見える化することで、技能と経験に応じた処遇を実現するために導入されたものです。このシステムを活用することで、日本人なのに外国人より安い賃金はおかしい、外国人だから安い賃金でいいなどといった、誤った認識が生じないように、客観的に技能を評価することができます。

### 5 : 技能実習制度との違いは？

技能実習制度は、日本での技能実習を通じた発展途上国への**技能移転**を目的としています。一方、特定技能外国人制度は、人手不足の解消のため即戦力となる外国人材の**労働力**としての受入れを目的としています。そのため、技能実習時とは異なり、報酬予定額を決める際には、技能実習2号の報酬水準を上回ることはもちろんのこと、実際に当該1号特定技能外国人と同等の経験を有する日本人技能者に支払っている報酬と比較し、適切な報酬予定額を設定することが必要です。

# 彼らと共に成長し 日本の技術を世界に広めたい!

愛知県を拠点に給排水設備工事業を展開している株式会社菅原設備。多国籍人材を受け入れており、育成に力を入れているのが特徴です。今回は同社の取り組みや、職種「配管」で活躍するベトナム人2名の声を紹介します。

取材協力:株式会社菅原設備 (全国管工事業協同組合連合会所属)

従業員数52名 内)技能実習生3名 特定技能4名(中国人、ベトナム人、ミャンマー人) ▶



## インタビュー 受入企業 Interview



代表取締役社長  
菅原 直樹 氏

### POINT

- 対立が生まれないように多国籍人材を雇用
- 日本語教室を開催して会社全体で語学力アップ
- 外国人就労者が国内外で活躍できる場を整備

### Q. 受入れを決めた理由は?

当社は2000年に3名で立ち上げた会社です。設立後は規模を拡大していくために人材確保に力を入れていたのですが、小さな会社にはなかなか集まらないもの。どうしたものかと考えていた時、知り合いの経営者の方々から「外国人はとてもがんばって働いてくれる」というお話を伺いました。そこで、2004年に技能実習生を受け入れたのが最初になります。

### Q. 受け入れて良かった点は?

一緒に働いてみて驚いたのは、彼らのハングリー精神でした。現場では他の従業員の仕事をすぐに覚えて自分の技術にしまいます。さらに、「次はこれを任せてほしい」「残業してでももっと仕事をしたい」と積極的にアピールしてくるなど、即戦力になってくれたので助かりました。

### Q. 今後の展開を教えてください。

外国人技能実習制度を導入した当初、「母国に帰っても自分たちの技術を活かす場がない」という声があがりました。そこで当社では、ミャンマーやベトナムに現地法人を設立しています。特定技能や技能実習生が日本と母国、どちらでも活躍できる環境を整備していくことが目的で、今後も彼らと共に高め合える関係を築きながら、世界に日本の技術を広めていくことを目標にしています。

#### 企業プロフィール

所在地: 愛知県津島市元寺町三丁目21番地2  
事業内容: 給排水設備工事業  
Website:  
<https://www.agile-innovation.co.jp>

#### 初期導入

- ・寮の確保
- ・生活家電一式
- ・入国前からの日本語教室サポート
- ・入国後実務研修(2週間~1カ月程度)

#### 給与体系イメージ

- ・特定技能(総支給額).....約19万円/月
  - ・技能実習(総支給額).....約16万円/月
  - ・外国人建設就労者(総支給額)  
.....約20万円/月
- 技能習熟等に応じた昇給あり 部署異動手当あり など

※実務経験によって異なります。



仕事熱心で成長意欲も高いタンさん



現場でミニショベルを操るトゥンさん



同僚の日本人との息もぴったり



みんな仲良く働いています!

## 現場で働くみなさんの声

日本での仕事や生活、またこれからの目標について、特定技能1号として働くベトナム出身のトゥンさん、タンさんにお話を伺いました。



トゥンさん

### 強みはゲームで上達した日本語。 来日予定の弟と 早く同じ現場で働きたい!

24歳で一家の大黒柱として、母国ベトナムにいる母や弟を養っているトゥンさん。日本語が得意で、日常的な会話なら問題なく話すことができるそうです。「オンラインゲームで日本人と話しなが

らプレイしていたら、自然と上達していきました」。来月にはベトナムから弟が来日し、現場で一緒に働く予定。今から待ち遠しいと、笑顔で教えてくれました。



タンさん

### 住みやすく 環境のいい日本で 家族一緒に暮らすのが夢!

5歳と6歳の息子を持つタンさんは、来日する前は台湾で働いていたそうです。日本との違いを聞くと、「日本はとにかく街がきれいで、騒音も少ない。こちらのほうが住みやすいです」と答えてくれました。

そんな日本で家族と暮らすのが夢だとか。現在は教習所に通っていて、数年後には車を購入したいとのこと。「早く免許を取得して、自家用車で現場に行くのが目標です」。

## アクション

## Action

## 受け入れ企業の取り組み

工事長  
後藤 直樹 氏

受入れをスタートした当初は、言葉が通じないことや、文化や生活習慣の違いから日本人従業員とトラブルにならないか、不安な部分があったのは事実です。どのようにすればコミュニケーションをうまくとることができるか、スムーズに作業を進めることができるか、これまで手探りで模索してきました。その中で、特定技能や技能実習生との関係性を良好に保つ方法の一つとして行っているのが、様々な国籍の方をバランスよく受け入れるということです。実際に、これまで中国人、モンゴル人、ミャンマー人、ベトナム人など、様々な国籍の方を受け入れてきました。それぞれ国が違う人を少数かつ同時期に受け入れることで、同じ国の人同士で固まることもなくなり、その分、日本人との距離も縮まります。また、彼らも故郷を離れて働きに来ている立場なので、人種が違っても仲間意識が強くなるようです。すると、菅原設備の仲間が国境を越えた"ファミリー"になり、強い愛社精神まで持ってくれるようになりました。今では、日本人、外国人という垣根もなく、共に働く仲間として強い連帯感が生まれています。

## コミュニケーション

## Communication

## 距離を縮める工夫

日本語を話すスピードが速いと聞き取りづらいようで、基本的にはゆっくり話すようにしています。また、話し方も「これ、配管、大丈夫?」と、簡単な単語で区切りながら話すより理解しやすいようです。他の業者もいる現場で活躍するには、日本語レベルを上げることが大切です。そこで当社では、日本語教室を開催し、月に1回オンライン学習を行っています。受入れが決まっている人にも海外で受講してもらうなど、日本語が上達する体制を整えています。

## アドバイス

## Advice

## 受け入れを検討する他社へ

今後、少子高齢化が進む日本で建設業を営んでいくには、海外の人材を受け入れることを前提にしないと成り立たなくなる可能性があります。とはいえ、最初の一步を踏み出すのが怖いのもわかります。そこで、実際に受入れをスタートしている企業の現場を一度見学してみたいかがでしょうか。おそらく、1日でもその働きぶりを目の当たりにしたら、彼らがいかに一生懸命に仕事をしていて、現場で力を発揮しているかがわかるはず。ぜひ体感してみてください。

2022年3月24日取材

## JAC取材班より

みなさん、本当に日本語が上手で、通訳さんは一切必要なしでした。インタビューしたのはベトナム国籍の2名でしたが、他の国籍の方もいらっしゃいます。それはあえて、多国籍にするという企業の方針とのこと。こちらの企業様は、日本語の「かるた」や「しりとり」をしてみんなで楽しく日本語を覚えてもらうという工夫をしています。そのような企業の取組みもあり、自動車学校に通いALL日本語の授業とテキストで、普通自動車運転免許に一発で合格したとのこと。会社全体が、大変若く今後成長していくエネルギーを感じました。



ONE FOR ALL, ALL FOR ONE

# JACの取組み



一般社団法人 建設技能人材機構 (JAC) は、特定技能外国人の適正かつ円滑な受入れを実現するために4つの事業を柱とし、取り組んでいます。

## 1 : 適正就労監理

特定技能外国人からの苦情・相談への母国語での対応、巡回指導等を適正就労監理機関((一財)国際建設技能振興機構 FITS)への委託により実施しています。雇用契約時と異なる低賃金・残業代未払いなどの労働関係法令その他の法令を遵守することで、健全な建設産業の発展に貢献します。

## 2 : 教育訓練・技能試験

国内外の関係機関等と連携し、特定技能外国人となる外国人に対し、日本語や技能・安全衛生教育等の教育訓練を実施。関係建設業団体と連携し、特定技能評価試験の実施と試験実施に付随する各種調整、会場の確保、受験者の募集、試験官の派遣や資機材の調達等を実施しています。

今年度の実施予定は、Webサイトにて公開中です。



## 3 : 職業紹介事業

特定技能外国人の受入れを希望する企業さまからの募集情報の掲載を受け付けます。JACのウェブサイト上の求人の申込みフォームより必要事項をお送りいただき審査の上、求人情報を掲載します。また、求職一覧に掲載している特定技能外国人のご紹介をします。



注意！

ご紹介できるのは「特定技能外国人」のみです。日本人の紹介はいたしません。

登録支援機関さまなど、外国人を直接雇用するわけではないところからの申込みは、受け付けておりません。受入れを希望する企業さまが直接お申込みください。求人情報の掲載、求職外国人の紹介について、手数料は一切かかりません。



求人する場合、  
右記の情報が必要です

- 企業情報(企業情報、代表者情報、担当者情報、主な事業内容 など)
- 建設業許可情報(建設業許可、建設業許可年、建設業許可番号 など)
- 建設キャリアアップシステム 事業者ID
- 就業についての情報(就労時間、年間労働日数、就労場所 など)
- ハローワークの求人票(撮影またはスキャンしたJPEG等の画像ファイル)



一般社団法人  
**建設技能人材機構**  
Japan Association for Construction Human Resources

求人企業を  
紹介

求職する

特定技能  
外国人を  
紹介

求人する

よい人材なのでよい会社に  
転職させてあげたい。



外国人を抱える企業

特定技能で働きたい。  
仕事を探してほしい。



外国人

仕事を探す(求職)

面接

一緒に建設現場で働く  
人を探している。



受入企業

ひとを探す(求人)

## 4 : 制度周知・グッドプラクティスの普及

特定技能外国人の受入れを希望する建設企業への説明会の開催等を通じた、企業への制度周知。国土交通省との共催により「優秀外国人建設就労者表彰」を実施し、優れた技能を持つ外国人材と企業を表彰し、グッドプラクティスを普及しています。また、JACのWebサイト・SNSでは様々な事例を公開し、皆様に有益な情報をお届けしています。



様々な情報をJACのWebサイトで公開中! ▶



# FOCUS

## 多彩な学びと経験、出会いや繋がりが、心を大きく成長させる!

明治32年開設の奈良県染色講習所を前身とする、奈良県内で最も歴史ある実業高校・奈良県立御所実業高等学校。5つの学科を有し、「ものづくりは、ひとづくり・夢づくり」をテーマに時代を担うスペシャリストの育成に邁進する同校は、「公立高の星」として高校ラグビーにおいてもその名を馳せる存在です。今回は都市工学科にて教鞭をとる喜多将仁先生に、生徒たちの学力や豊かな人間性を培う取り組み、生徒たちに伝えたい想いの数々を伺いました。

奈良県立御所実業高等学校  
都市工学科

喜多 将仁 先生

### 生徒の心に変化をもたらす積極的な体感・体験機会

土木や都市工学に関する知識・技術を習得し、ゆくゆくは建設業や土木行政などの分野で活躍していくスペシャリストの育成を目指す都市工学科。建設機械の操作実習や測量実習などを通じて、現場の即戦力となるための基礎的な知識を学んでもらうことに重きを置いている。

「生徒たち自身、実習の中で建設機械に触るうちに楽しさを覚えたり、座学を通じて都市工学への興味を深めるなど、日々面白みを感じながら学んでいます。また近年は土木の現場もオートメーションや自動

化が叫ばれ、ICT機器の活躍する場面も増えていることから、講師の方を招いて実際どのように現場で用いられているのかを聞いたり、現場に伺ってICT機器に触れさせていただくといった体感・体験機会を増やす取り組みを行っています。最近では道路建設工事の現場に伺い、VRを用いた危険予測を体験させていただき、生徒たちは非常に興味を惹きつけられていました。現場をほとんど知らない学生と、現場を日常としている社会人とは見えるものも違うため、そうした経験を積めるのは非常に有意義です」

基礎的な知識とともに現場を経験する機会を得ることができていれば、就職した

際にもよりスムーズに職場へと溶け込んでいきやすい。地元企業を中心に、そうしたいち早く戦力となっていける若者に期待する声も高まっている。

「昨年度から17歳でも挑戦できるようになった2級土木施工管理技術検定については、地元企業である鍛冶田工務店さまや総合資格学院さまにも教材などのバックアップをいただいています。資格取得は生徒自身のやる気を高める大きな要因にもなり、すごく良い機会を与えてもらっていると感じるので、私たち教員としても精一杯サポートしていきたいです」

### 新しい学びや技術の取得にも挑戦し、自身の知見を共有

生徒に日頃から向き合う立場として、常に新しいことを取り入れていきたいと話す喜多先生。たとえば先生の持つ小型車

### 目標に向かってチャレンジ!

### コンクリートカーナー大会や測量大会に挑む!土木研究部

災害時に役立つ!  
防災かまどベンチ



発足3年目となる土木研究部。「一昨年には近畿地区高校生測量競技大会にも挑戦し、初参加ながら初優勝をすることができました。結果を残せたのもうれいですが、生徒がいきいきと臨めたことによる収穫です」と喜多先生。災害時にかまどとして利用できる防災かまどベンチを校内に設けるなど、実践的なものづくりにも取り組んでいる



卒業生とも交流し、繋がりを持っておきたいと話す喜多先生。「現場で活躍しているOBたちのほうが、私たち教員よりもさらに現場に近い新鮮な情報や知識を持っています。先輩たちの声、先輩たちの様子を生徒たちに伝えてあげること、私たちの大切な仕事の一つです」

コレ推し!

## 土木建造物



京奈和自動車道

喜多先生が選んだ地元の土木建造物は、京都・奈良・和歌山を繋ぐ京奈和自動車道。写真は建設工事の見学時に取めた一枚です。「本校に赴任して最初に見学に行ったのが、京奈和自動車道の建設現場でした。こんなにきれいな道路ができるんだ、という驚きもあり、強く印象に残っています」

両系建設機械や小型移動式クレーンといった資格も、教職に就いた後に新たに取得したものだそう。

「生徒だけでなく私自身も土木系の資格取得に取り組むことで、『こんな勉強をすれば資格が取りやすかった』とか『こんな勉強方法が分かりやすかった』といった経験を交えた助言ができ、生徒の将来にも活かすことができます。今取り組んでみたいと考えているのは、活躍が広がっているドローン測量。現場ではどのようなドローンが用いられているのか、どのように操作するものなのか…そうした知識や経験があるだけでも、生徒たちの自信に繋がります。最新の土木技術をできる限り生徒に伝えるため、私自身も常に新しい学びや技術の取得に挑戦していきたいです」

あわせて生徒とともに取り組む課題研究、顧問を務める土木研究部の活動にも積極的だ。

「同好会を経て3年前にスタートした土木研究部ですが、8月に行われるコンクリートカーン大会や測量大会の出場に向けて生徒たちも熱意を持って取り組んでいます。もちろん大会で優勝するという目的を持つことも重要なのですが、なによりも大切なのは、その過程でさまざまな技術を



課題研究の一環として、校内の修繕検討箇所をチェック。「たとえば自動販売機に雨よけを設ける場合でも、加工のしやすい木を使うか、丈夫な鉄を用いるかなど材料や手法も様々。“土木だからこの素材・この方法”といった固定観念にとらわれず、いろいろな選択肢を見出してほしい」と、生徒自らが考える姿勢を重視する



学べること、そして多くの失敗を体験・体験することで、生徒自身の視野が広がっていくことだと思います。“この方法ではダメだった、では次はこうしようか”と、みんなが一丸となって意見や考えを出しあえる環境こそ私が理想としている在り方です」

### 悩みや迷いの経験も 仕事の喜びへと繋がっていく

3年生を担任する喜多先生。就職・進学と、自身の進む道に悩みや迷いを抱く生徒たちに対しては、日頃から「出会いや繋がりが、縁といったものも大切にするとよい」と、喜多先生自身の経験も踏まえてアドバイスしている。

「じつは私自身、学生時代に目指していたのは数学の教員でした。ただ、それを目指す過程で工業高校の教員免許も取得できたため、どちらの道に進むべきかを迷ったことも。そうした中で知人から『この機会を縁と考えて、工業高校で教えてみては?』とアドバイスを受け、まずはやってみようという思いから現在の道に進みました。生徒たちと10年関わる中で、その選択は決して間違いではなかったと確信しています。分からなかったことが分かるようになるなど、目の前の生徒が成長する瞬間に出会うたび、心から教員としての喜びを感じることができます。そうした毎日を送れるのも、工業高校の教員免許取得という

きっかけや、アドバイスをくれた人との縁、本校への縁があったからこそ。生徒に対しても、出会いや繋がりを大切にすること、そして近道だけが正解ではなく、ゆっくり歩いたり回り道をするすることで、客観的に自分の立ち位置を見つめることも大事であることを覚えておいてもらえたらと思います」

進学を選ぶ生徒たちも増えてきたが、卒業生の多くは企業への就職や家業を後継する道へと進んでいる。

「本校を卒業したらすぐに就職という子にとっては、ここが社会に出る前の最後の学び舎になります。ここでしか教えられないこと、社会人としての基礎、私が今まで学んできたことなど、伝えられることはできる限りたくさん伝えていきたいですね」



先生から  
みんなへ  
メッセージ

出会い  
繋がりを  
大切に  
喜多特仁



奈良県立御所実業高等学校

〒639-2247 奈良県御所市玉出300番地

WEB <http://www.e-net.nara.jp/hs/gosejitsugyo/>

## 日本経済にも大きな影響を与える 米国の金融引き締めとインフレの行方

みずほリサーチ&テクノロジーズ 調査部 プリンシパル 小野 亮

40年ぶりの高インフレに直面した米国の中央銀行が、金融引き締めを急ぎ始めた。利上げペースの加速と大規模な資産縮小を打ち出す米国の中央銀行に対して、金融市場には景気後退への不安がくすぶる。一方、ソフトランディングに留まる程度の引き締めでは高インフレの鎮静化に成功しない恐れがある。そこで今回は、米国の金融引き締めをめぐるポイントを解説する。

### 日本経済も揺さぶる米国の金融引き締め

米国経済は40年ぶりの高インフレに直面している。2021年半ばまでは、物流問題や原材料・部品不足など供給サイドの要因による「コストプッシュ・インフレ」であるとして静観していた米国連邦準備制度理事会（FRB）だったが、同年終盤以降は消費や投資などの需要の強さによる「デマンドプル・インフレ」の一面があることを認めざるを得ない状況となった。米国の労働市場は超売り手市場に変貌し、賃金・物価上昇のスパイラルリスクへの警戒も強まっている。そこでFRBは22年3月に利上げを開始し、先行きは1回の会合で0.5%の大幅利上げも辞さない姿勢を示すと共に、大規模な資産縮小も打ち出した。

引き締めを強化する米国の金融政策は、日本経済を揺るがしている。米国の金利先高観は、日本の国債利回りに上昇圧力を加え、為替市場では円安圧力を生む。加えて警戒が強まるのが、FRBによる急激な引き締めが米国の景気後退を招くリスクである。そうなれば外需依存度の高い日本経済が大きな影響を受けるのは必須だ。

### 米国経済のソフトランディング論

4月に入り、FRB内部ではロシアによるウクライナ侵攻がなければ、多くの参加者が3月の時点で0.5%の大幅利上げを提案していたことが判明した。また同じ頃、FRBの有力高官であるブレイナード理事が、そうした迅速な利上げと大規模な資産縮小によって「今年後半には米国の金融政策が緩和的スタンスから中立的なスタンスに近づく」と述べている。

引き締めを急ぐFRBだが、彼らが期待しているのは、物流網の正常化など、インフレの一因となってきた供給制約の緩和や、去年の景気対策の反動などによって、インフレが自然体でピークアウトする姿である。金融政策が、そうしたインフレのピークアウトを後押しする黒子役に留まる限り、ソフトランディングは可能とみている。

### ソフトランディング論の盲点

しかしソフトランディングへの期待には盲点がある。

例えば、コロナ禍の収束がインフレ抑制的に働くとは限らない。経済活動が正常化すれば、労働需要は今以上に強まり、所得面から消費が一段と刺激されるかもしれない。また、サプライチェーン問題に苦しめられた企業は、コロナ禍前より多くの在庫を確保しようとし、そうした在庫復元によって景気が過熱するかもしれない。

最も悩ましいのは、「金融政策スタンスの変化とインフレの変化との間には弱い関係しかない」という長年の経験則である。今後のFRBによる引き締めが、自動車販売や住宅建設など、金利に敏感なセクターに悪影響を及ぼすことは間違いない。それによって、日本からの米国向け輸出も減速を余儀なくされるとみられる。

しかし、米国経済が多少減速する程度では、金融引き締めの目的である高インフレの鎮静化にはほとんど役に立たない。つまり、ソフトランディングが可能であればあるほど、インフレはむしろ高止まりし、結局、低インフレと低成長が併存する悪い均衡に陥ってしまう恐れがある。

### 賃金の高い伸びは強力な引き締めのサイン

需要の伸びが減速し、インフレも大きく低下するケースが全くないわけではない。それは景気後退である。コロナ禍前の三度の景気後退を振り返ると、いずれもインフレは大きく低下した。

短期間に大きなインフレ低下圧力を生み出す景気後退という「選択肢」は、物価安定と共に雇用の最大化を目標に掲げるFRBにとって、不名誉であり、かつ予測不能な事態を引き起こす危険性もある。しかし、2%のインフレ目標を掲げるFRBにとって、4%を優に超える高インフレの定着は全く許容できない。もしそうした高インフレの定着リスクが高まる状況になれば、「景気や雇用を犠牲にしても、インフレを抑制するためにはこれまで想定されている以上の強力な引き締めが必要」というメッセージが、FRBから発せられるようになるとみられる。

では、注意しておくべき米国の経済指標には何があるだろう。最も重要なのは毎月第1金曜日に発表される米国の雇用統計である。賃金が前年比で5%を超え続けたり、失業率が低下して3%に近づいたりしたら要注意だ。

### 生産性2割アップの実現に死角はないか

日経クロステック建設編集長 浅野 祐一

建設産業の生産性2割向上を目指して、国土交通省が導入したi-Constructionの施策。付加価値生産性の観点から見ると、施策は目標に向けて順調に進んでいる。一方で課題も残っている。今後、建設業の生産性を高めていくために必要な施策などを解説する。

国土交通省が2016年に始めたi-Construction。建設生産システムにおいてIT(情報技術)の導入が進み、設計や施工といった建設生産システムにおいて新しい技術を取り入れる動きは加速した。i-Constructionでは、生産性を2015年に比べて2割引き上げるという目標を掲げている。付加価値生産性の観点から見ると、現状では着実な進捗を見せている。

2015年の時点で、建設業従事者1人が1時間あたりに生み出す付加価値額は2697円だった。これが、建設現場などにおける業務改革に伴い、2020年には3088円にまで伸びた。2025年の目標は3236円なので、計画は順調に進んでいるように映る。

ただ、手放しで喜べるような状況ではない。2つの大きな課題があるからだ。1つは、建設業の付加価値生産性が他の産業と比べて低い水準に甘んじている点だ。2019年時点の製造業の付加価値生産性は5788円、情報通信業では6602円に及ぶ。いずれも建設業の2825円の2倍以上の金額だ。

もう1つは、まだ中小建設業の取り組みが本格化していない点だ。これまで、i-Constructionの取り組みを大きく牽引してきたのは、比較的規模の大きな建設会社だった。これは、国土交通省の一般土木工事について、入札ランクごとにICT施工の経験を持つ会社を調査した結果からも明らかだ。

国土交通省の入札ランクは、工事金額の多寡に応じてA～Dまで4段階で区分けされている。このうち、工事金額

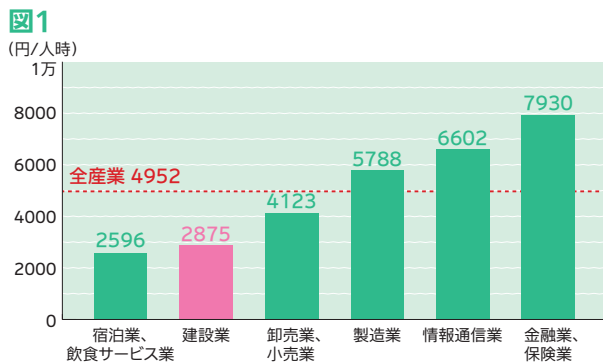
が高い事業を担うAランクやBランクに属する規模の大きな建設会社は、ICT施工を経験した割合が9割を超えた。半面、CランクやDランクに属する中小規模の建設会社では、その導入率がぐっと低くなっている。

中小規模の建設会社がi-Constructionの取り組みに十分に参加できなかった一因として、基準類の整備が追いついていないという問題があった。そこで、国土交通省では2022年3月、小規模現場向けのICT施工を実施しやすくする要領案を制定。土工量1000m<sup>3</sup>未満の土工事でのICT施工を推進している。

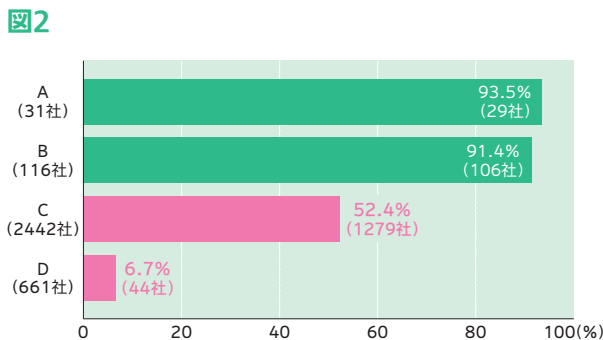
こうした国の後押しを受け、中小規模の現場での効率化では、スマートフォンを活用した測量やマシンガイダンス機能を備えた重機の導入など、工事自体を合理化する取り組みが進展するとみられる。

工事の作業自体を効率化する取り組みだけでなく、現場で撮影した写真の整理など報告書を作成する業務の効率化も生産性向上に役立つ。クラウドを介して写真を保存し、専属の部隊が撮影者に代わって資料をまとめていくような取り組みも拡大していくとみられる。

他方、中小規模の建設会社では、経理や勤怠管理といった管理業務での効率化が十分に図られていないケースが少なくない。いわゆるバックオフィス部門における業務効率化も生産性向上に寄与する。こうした部分では既存のソフトやサービスが多いので、各社の実情に合ったシステムの導入は検討に値する。



2019年時点の産業別の付加価値生産性。図2も国土交通省の資料を基に日経コンストラクションが作成



国土交通省の一般土木工事の等級別に見たICT施工経験の割合。単体企業での元請け受注工事だけを集計した。北海道開発局と沖縄総合事務局は除く。対象期間は2016～2020年度。縦軸の企業ランクの下のカッコ内の数字は2016年度以降の直轄工事を受注した企業数

# 働き方改革の定着に向けて

## ～ 2024年の時間外労働上限規制への対応～

とある建設会社での日常です。中小建設会社のミルアス建設の方たちと、働き方改革の1番のメインテーマである2024年の時間外労働の上限規制に向けて、一緒に取り組んでいきましょう。

### 第3回

### 労務管理



profile 櫻井 好美  
社会保険労務士法人アスミル  
特定社会保険労務士

#### ミルアス建設 人物紹介

**丸山社長** 先代から会社を引き継いだ2代目社長。のんびりとした性格で、優しい人柄。



**鈴木課長** 丸山社長を支える、頼れる存在。気配りも優秀で社内外に評価が高い。



**高橋さん** 会社の事務を一手に担うしっかり者。キャリア5年目にして上にも下にも人望が厚い。



**木村くん** 入社2年目の元気な若手社員。表裏のない性格で思ったことはすぐ口にしてしまう。



高橋さん

木村くん、昨日もタイムカード押し忘れてるけど、何時に帰ったの？

えっと、現場から17時に戻って、それから日報書いて…。



木村くん



鈴木課長

高橋さん、有給の申請ってどうやるんだっけ？

鈴木課長、こないだ説明したじゃないですか!! 社長、もう私だけ忙しくなってますよ。なんとかしてください!!



高橋さん



丸山社長

それは大変だ。先生に相談してみよう。

～櫻井コンサルタント登場～

今まで時間管理や有給管理を適正にやっていなかった会社にとっては、労務管理の手間は増えますよね。



櫻井先生



丸山社長

そうなんです。ただ、このままだと高橋さんの仕事ばかり増えてしまいます。どうしたらよいのでしょうか？

社長、まず時間管理から整理していきましょう。タイムカードでなくても、最近は**勤怠管理システム**を活用している会社もありますよ。これであれば押し忘れた時のチェックも簡単にできます。



櫻井先生



高橋さん

勤怠管理システムって、スマートフォンから打刻するシステムですか？

そうですね、**スマートフォンだけでなくPCからも打刻が可能です**。直行直帰がある場合は有効ですよ。例えば、現場から直帰する場合は、現場での仕事の終了時刻が終業時間になりますから、そこでスマートフォンから打刻をしてもらえれば**正確な時間がわかります**。また、**内勤の方はPCの方からの打刻**をしてもらえれば大丈夫です。



櫻井先生



鈴木課長

そういえば、現場でも建設キャリアアップシステムで入退場管理をしているな一。

そうですね。確かに建設現場では入退場管理をされているところもありますから、その記録でも時間管理はできますね。ただし、現場から事務所に戻って日報を書いたり、明日の準備作業をするのであれば、会社での業務終了時間が終業時間となりますので、**現場での入退場管理と会社の就業時間がイコールとはいえません**ね。



櫻井先生



鈴木課長

なるほど。そういうことか。



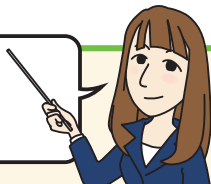
丸山社長

先生、そもそもどこまでが労働時間なのかよくわかりません。現場が終われば、そこで業務終了じゃないの？

社長、どこまでが労働時間なのか、また労務管理について次のページで順番にご説明しますね。



## 解説します



### 1 労働時間管理

労働時間とは「使用者の指揮命令下にある時間」のことをいいます。労働時間管理とは労働者の労働日ごとの始業と終業の時刻を確認し、適正に記録することをいいます。

では、まずどこまでが労働時間を確認していきましょう。労働時間に該当するかどうかは、労働契約や就業規則の定めによって決められるのではなく、客観的にみて、労働者の行為が使用者に義務付けられたものかどうかで判断します。たとえば、就業規則は午前8時が始業で午後5時が終業時間と規定されていたとします。しかし、毎朝7時30分には出勤をし、全員で朝礼をして朝の掃除をしているとなれば、始業時間が7時30分とみなされます。再度、どこからどこまでが労働時間かを確認しましょう。

労働時間にあたる場合	労働時間にあたらぬ場合
<ul style="list-style-type: none"><li>● 始業前、終業後の片付け</li><li>● 手待ち時間</li><li>● 会社が義務付けした朝礼等</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 休憩時間</li><li>● 通勤時間</li><li>● 現場への直行、直帰の移動時間</li></ul>

#### 移動時間の注意点

建設業において、現場への移動時間の取扱いについて検討が必要です。

労働時間は使用者の指揮命令下の時間をいい、現場への移動についても、会社が時間や車両を指示したのであれば労働時間として取り扱われますが、現場への直行、または事業所に車両を取りに立ち寄ったとしても、運転者、集合時刻等を当事者間で決めているのであれば、使用者の指揮命令下にはあたらぬ(労働時間ではない)とされています。そのため、例えば、積み込みは前日に終了させて、当日は移動のみにする、積み込み作業は当番制にするといったメリハリのある時間管理が重要です。



移動時間が労働時間に  
当たらないとされる  
ケース

- ① 作業現場への直行直帰が認められていること
- ② 車両への荷積み等の作業がない
- ③ 車両内で、当日の段取り等の打ち合わせがない
- ④ 車両運転者、集合時刻についても自主的に決めている

労働時間管理について厚生労働省の「労働時間の適正な把握のために使用者が講ずべき措置に関するガイドライン」によると、タイムカード、ICカード、パソコンの使用時間の記録等の客観的な記録を基礎として労働時間を確認し、適正に記録することとされています。もちろん手書きやエクセルでの管理でも問題ありませんが、使用者が自ら現認することとされていますので、出来る限り客観的な方法で記録することが望ましいです。最近ではたくさんの勤怠管理システムがでており、ほとんどが1ヶ月は無料で試すことができますので、自社にあったシステムをみつけていきましょう。

労働時間の適正な把握のために使用者が講ずべき措置に関するガイドライン

<https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11200000-Roudoukijunkyouku/0000187488.pdf>



### 2 有給休暇管理

年次有給休暇について、働き方改革では年10日以上有給休暇付与者に対し、最低でも年5日を取得させなくてはならないということが2019年4月よりスタートしました。今まで、なんとなく有給休暇管理していた会社も取得状況の確認をしなければなりません。そのため有給休暇の管理や取得方法も検討していく必要があります。有給休暇は原則1日単位の付与ですが、半日単位や労使協定があれば時間単位の有給休暇の取得も可能です。こうした管理はもちろんエクセル等での管理もできますが、勤怠管理システムを導入するのであれば、ほとんどのシステムが有給管理も対応が可能です。

### 3 労務管理の効率化

勤怠管理システムでは、時間管理はもちろんですが、有給管理や時間外労働の申請制についても対応が可能になっています。働き方改革で労務管理の手間は間違いなく増えています。そして業務の効率化についてはITの活用は必須です。まずは日常的なところからITの活用をし、業務の効率化を目指していきましょう。

## まとめ



丸山社長

いろいろ整理できました。ITは得意じゃないけどチャレンジしてみます。



木村くん

社長。俺得意ですよ。



櫻井先生

働き方改革は今までの労務管理体制を見直す絶好のチャンスです！現場で働く方は、ITに苦手意識の方も多いようですね。まずは身近なものからスタートしていきましょう。



丸山社長

おっ、今回は木村くんの出番だな。うちの会社もこれで一歩進めるよ。

次号へ続く



第44回

かわいい

土木

けあげ  
ねじりまんぼ(蹴上トンネル)  
京都市左京区

# インクラインをくぐる らせん状トンネル

明治時代に建設された琵琶湖疏水。高低差の大きい個所に、舟を台車で引き上げるインクラインがつくられた。その基礎となる土手をくぐる歩行者用トンネルが「ねじりまんぼ」だ。ドボかわいい名前と不思議な構造を持つまんぼの誕生には、ビッグプロジェクトにおける繊細な心配りが秘められていた。

Photo・Text ▶ フリーライター 三上 美絵

大成建設広報部勤務を経てフリーライターとなる。「日経コンストラクション」(日経BP社)や土木学会誌などの建設系雑誌を中心に記事を執筆。広報研修講師、社内報アワード審査員。著書『土木技術者になるには』(ペリカン社刊、2022.4発行)



アーチ天井のレンガの向きが、奥へ向かって渦を巻くようにねじれている。上を見ながら歩いていくと、異世界へ吸い込まれていきそうだ。

## 渦巻くように積まれた 赤レンガの「まんぼ」

京都市の蹴上駅近くにある蹴上トンネルは、名刹・南禅寺へ向かう歩行者用の道路トンネルで、「ねじりまんぼ」と呼ばれる特殊な構造をもつ。

「ねじり」は分かるが、「まんぼ」って何？ ネットで検索してみると、鉱山の坑道を表す「まぶ」が訛ったもので、「京都や滋賀の方言で小さいトンネルのこと」だという。

「まんぼ」と呼ぶ地方もあるらしい。ウ～、マンボ! (違う)

要するに「ねじりまんぼ」は「ねじった小さいトンネル」のことだ。蹴上のねじりまんぼはサイズ感といい、渦巻くレンガといい、アーチ下の側壁にも小さなアーチが配された内部のデザインといい、どこをとっても美しく、ドボかわいい。斜めになったレンガの端部の処理など、細部のつくりもていねいで、設計した人、施工した人の愛が感じられる。

## ねじれる理由は 交差角度にあり

ねじりまんぼはここだけでなく、新潟県から福岡県にかけて各地に25カ所ほど

あり、大半が関西に集中している。明治時代初期から大正時代にかけて、全国に鉄道が敷設された時期につくられた。

それにしても、ねじりまんぼはなぜ「ねじれていなければならない」のか。それには明快な理由があった。

「まんぼはトンネル」と書いたが、じつは「アーチ橋」でもある。というのは、鉄道線路と道路などが交差する個所に掛け、鉄道はアーチ橋の上を通し、道路は下をくぐらせる構造だからだ。

このとき、両者が直交せず斜めに交差している場合、下をくぐる道路に合わせて水平にレンガを積むと、橋に掛かる力が全体に伝わらない。このため、上を通る線路と直角になるようにレンガを積み、強度を確保する。その結果、下の道路から見ると、アーチがねじれてしまうのだ。

## 疏水の高低差を乗り越える 世界最長のインクライン

蹴上のねじりまんぼの上を通っているのは普通の鉄道ではなく、琵琶湖疏水を通る舟を台車に乗せて運ぶためのインクライン(傾斜鉄道)だ。

琵琶湖疏水は琵琶湖の水を京都市内へ引き込むための水路で、1890(明治23)年に第一疏水が完成。建設当初は舟運路としての役割も担っていたものの、蹴上付近は水路の高低差が大きく、そのま



▲ねじりまんぼの三条通側の坑口。扁額の上にはレンガをノコギリ状に積んだ装飾「デンティル」が配されている。





ねじりまんぼの内部。側壁との接続部を見ると、レンガが斜めに積まれているのがよく分かる。側壁に並んだ小さなアーチもドボかわいい。上は琵琶湖疏水を指揮した田辺朔郎の銅像。



▲インクラインの廃線跡。下流へ向けて急勾配で下がっているのが分かる。



▲小径側から見たねじりまんぼとインクラインの土手。



▲復元されたインクラインの台車。琵琶湖疏水の水力発電で巻き揚げ機を動かした。

までは舟が乗り越えられない。

そこで、蹴上船溜<sup>ふなだまり</sup>から下流の南禅寺船溜まで、全長約582mに及ぶインクラインを敷設。旅客や荷物を舟に載せたまま陸送して約36mの高低差を乗り越えさせた。インクラインとしては、当時世界最長だったという。

このとき、インクラインを一定の勾配にするために大規模な土手が築かれた。その土手の下をくぐるのが、ねじりまんぼだ。そこから南禅寺へ続く小径<sup>こみち</sup>とともに、疏水建設の一環として計画された。

インクラインの土手は、京都市内を東西につなぐ三条通(東海道)に沿って設計されたため、土手によって地域が分断されることになる。そこで、ねじりまんぼと小径をつくり、三条通から南禅寺方面へ歩いて行けるように配慮したのだ。

132年たった今、ねじりまんぼに続く

小径は、塔頭の堀越しにせせらぎの音が聞こえ、庭園の木々が覗く心地よい遊歩道になっている。

### 壮大な疏水プロジェクトに きめ細やかな心遣い

ねじりまんぼの両側の坑口にはそれぞれ、「雄観奇想<sup>ゆうかん きそう</sup>」、「陽気発処<sup>はつすところ</sup>」と書かれた扁額が掲げられている。雄観奇想は「みごとな景観、すごい発想」、陽気発処は「精神を集中すればどんな困難にも打ち勝てる」といった意味だ。揮毫<sup>きごう</sup>は、当時の京都府知事・北垣国道によるもの。

琵琶湖疏水は、明治になり首都が東京へ移って寂れた京都の復興を掲げて北垣が計画し、若き土木技術者・田辺朔郎<sup>たくろう</sup>に指揮を託した一大プロジェクトだった。琵琶湖の水を引くことは、江戸時代からの

京都の悲願でもあった。

しかし、10km近いルートの中には山を貫通する大トンネルを掘る必要があり、工事は難航を極めた。この扁額には、前例のない難工事を成し遂げた関係者たちの気概が込められている。

一方で、ねじりまんぼや小径の存在から感じるのは、殖産興業を推し進める疏水計画の中に、人間重視のきめ細やかな心遣いがあったことだ。琵琶湖疏水が京都の人々に愛され続ける理由の一つは、きっとこんなところにもあるのだろう。



### アクセス

地下鉄東西線  
蹴上駅から徒歩2~3分

# 働くすべての女性が働きつづけられる建設産業へ 建設産業女性定着支援ネットワーク

建設産業の女性定着促進に関する情報をお届けします！

## 女性の定着促進に向けた建設産業行動計画 ～働きつづけられる建設産業を目指して～



行動計画の3本の柱

Plan for Diverse Construction Industry  
where no one is left behind

建設産業で働く全ての女性が「働きがい」と「働きやすさ」の両立により、就業継続を実現することを目的に令和2年1月に策定されました。3つの柱とその趣旨を達成するための個別の目標が設定されています。

現在、建設産業では本行動計画に基づき、誰もが働きやすい業界を目指して官民をあげた取組を行っています。

## 建設産業における女性の就業継続にむけた キャリアパス・ロールモデル集

建設産業への入職を検討している方や、就業継続に悩む方に向けた事例集として制作！



### 掲載内容

- 10名の女性就業者のキャリアパス
- 建設業界への入職理由や経緯
- これまでの仕事面の経験やプライベートとの両立方法 等



ダウンロードはこちら  
ぜひ、ご活用ください！



建設産業  
女性定着支援  
WEB

建設産業の女性定着に関する情報はこちら

建設産業女性定着支援WEB

検索

#建設産業女性定着支援ネットワーク  
#女性の定着促進に向けた建設産業行動計画  
#キャリアパス・ロールモデル集



視聴期間終了迫る! 7月末まで

## 第26回 建設業経営者研修 WEB配信中(無料)

# 変化を恐れない!

### ～これからの経営者の在り方とは～

経営者、経営後継者、経営幹部の方を対象とした研修です。

参加費:無料 申込方法:下記URLまたは二次元コードからお申込ください。

<https://www.kensetsu-kikin.or.jp/management/keieishakenshu>



(株)ダイゴさんは地域の困りごとを地域貢献の一環で対応してきたところ、新規事業につながり、事業を拡大させています。事業承継、地域の困りごとも見据えて、縮小均衡ではなく、成長を志向するマインドに起因している経営を常に行っています。今回はその経営手法をご紹介します。(澤田)

対談

### 地域建設業(建築 & 土木)の新規事業展開 ～人材・技術の活用と地域貢献の観点より～

五十嵐 正信 氏 (株式会社ダイゴ 代表取締役)

五十嵐 幸子 氏 (株式会社ダイゴ 専務取締役)

澤田 兼一郎 氏 (株式会社みどり合同経営 代表取締役・中小企業診断士)



対談

### 変化を前向きにとらえるために 必要なこと

石岡 秀貴 氏 (株式会社 石岡組 専務取締役)

櫻井 馨 氏 (伊米ヶ崎建設株式会社 代表取締役社長)



変化は望むと望まざるとにかかわらず身に降り掛かってきます。その際にどう考えて変化と向き合い、より良くなるきっかけにするかはそれぞれ経営者次第だと考えています。

変化を前向きに捉え、最初の一步を踏み出すきっかけになるような配信になれば良いなと思います。

受講者皆様の行動を喚起するようなものを届けられたら嬉しく思います。(石岡・櫻井)

時代の需要に合わせて、本業を製造業から農業施設構築工事業及び農業従事者への農業運営指導企業へと変えた経営者の考え方をご紹介します。建設企業がなかなか踏み出せない海外企業との連携も得意としている企業です。中小建設企業の事業者でも国際的な協業が出来る可能性があることを知っていただければと思います。(藤原)

対談

### 製造業から建設業への進出 ～農業の工場生産化への支援企業として～

富田 啓明 氏 (トミタテクノロジー株式会社 代表取締役社長)

藤原 一夫 氏 (藤原コンサルティング 代表・中小企業診断士)



主催・問い合わせ

(一財)建設業振興基金 経営基盤整備支援センター TEL:03-5473-4572  
経営改善支援課 FAX:03-5473-4594



## PROFILE

かねだ まな  
金田 愛菜 さん大浦工測株式会社  
神奈川県出身

アクティビティーズ

# Activities

輝く活躍人にせまる

## 建物づくりの“道しるべ”を描く、現場を支える建築測量!!

建設工事を正しく速やかに進めるため、ミリ単位の精密な計測に基づいて墨の線を引き、設計図を現場そのものに描く——建築測量（墨出し）は、多種多様な職種が集まる建設現場に必須となる“道しるべ”を示す仕事と言える。愛用の墨つぼを手に墨出しを行う金田 愛菜さんもまた、そうした現場を支える役割を担う職人の一人だ。

「幼い頃から図工やものづくりが好きだった」という金田さん。「高校受験の際、普通科に行くより、自分の好きなものづくりについて学べる工業高校に進学したほうが、充実した高校生活を送れそうだと思います。また体験入学時にはじめて光波測距儀に触れたのですが、それがすごく楽しくて、もっと知りたい!という思いが強くなったことから、測量のできる建設科を選びました」と、測量との出会いを話す。高校時代には『高校生ものづくりコンテスト』に臨んだが、その“心残り”が今の道につながっているそう。「夏の大会に向けて冬から訓練を重ね、仲間と励まし合いながら本番に臨んだのですが、残念ながら目標とする関東大会には出られず、それが心残りになっていました。就職を考えたとき、自身の中にあつた悔しさを晴らすためにも測量の道に進んでみようと思いました」。そうした中、現場見学で出会ったのが、墨出し工事のパイオニアとして数多くの建設工事に参画する大浦工測株式会社だった。「仕事の様子を実際に見て、自分もこうなりたい!と強く思いました。また様々な開発や大規模な建設工事に

携わっている点も魅力的だったことから、大浦工測への入社を希望しました」。

入社して4年。「まだまだ学ぶことがたくさん!」と話す金田さんだが、その表情は明るい。「周りは先輩ばかり。いろんな方が教えてくださいますが、現場の見方・考え方はそれぞれで、日々学びがあります。それに安全への意識やセキュリティは厳しくとも、現場の雰囲気はとても和やか。すれ違うたびに“気をつけて”や“ご安全に!”と声をかけてくださるので、頑張ろうという気持ちになります」と微笑む。

また「建物に最初から最後まで関わられる仕事」であることが、大きなやりがいにつながっていると話す。「建物ができる前の現場は、当然ですが何も無い場所。そこに掘削の位置を示すことで、はじめて現場が動き出します。重機が入り、コンクリートが入り、鉄筋が入り、型枠が組まれ…と、自分たちの手をきっかけに次々とものができていく様子は、見ていて本当に気持ちがいいです。そうして完成の瞬間まで立ち会えるのは、この仕事ならではの喜びです」。

周りの先輩たちからも『測量の際の計算をはじめ、いろいろなことを任せられるようになってきた』と信頼を寄せられる金田さん。「次の目標は、墨出しの資格でもある建築測量技能者2級の取得です」と、さらなる成長にも意欲を見せる。現場と共に成長を重ねる、新たな現場の“道しるべ”となっていく存在だ。

